

# 市民意識の変化

後期基本計画の策定にあたって、政策・施策の市民満足度や定住意識の変化を把握することを目的に、平成19年(2007年)10月に市民アンケートを実施しました。

具体的な調査の方法としては、施策別の目標と達成状況を明示し、さらに財政状況や将来の人口構成の変化を具体的に示しつつ、後期計画に向かって市民の政策・施策に対する意識を調査したものです。

調査は満20歳以上の無作為抽出した市民3000人に郵送し、875人(回収率29.2%)から回答をいただきました。

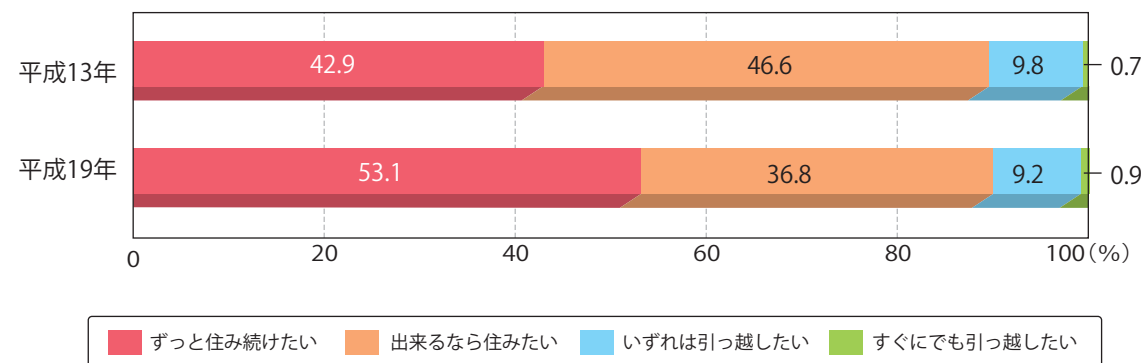
## 1 政策別重要度

政策別重要度の経年変化をみると、平成19年(2007年)調査の政策別重要度は、平成13年(2001年)に比べ、「環境調和」と「産業の振興」の政策に関する重要度の意識が高まったことがわかります。

平成13年調査		平成19年調査	
政策名		政策名	
第1位	03 健康・福祉	第1位	01 環境調和
第2位	01 環境調和	第2位	03 健康・福祉
第3位	04 都市機能・都市基盤	第3位	02 産業の振興
第4位	05 教育・生涯学習	第4位	04 都市機能・都市基盤
第5位	02 産業の振興	第5位	05 教育・生涯学習
第6位	06 市民協働	第6位	06 市民協働

## 2 定住意識

市民の定住意識の変化をみると、江別市に住みたい、住み続けたいと考えている市民は、平成13年(2001年)調査では、89.5%と高い割合でありましたが、平成19年(2007年)調査においても、89.9%と、高い割合を維持し、さらにわずかながら増加を示すなど、定住意識は安定して高い数値となっています。



## 3 施策の重要度、満足度

前期計画中の施策の進捗状況を示しながら、30の施策(「効率的な行財政運営の推進」を除く)の重要度と満足度をアンケートからグラフ化すると、以下のような状況となります。

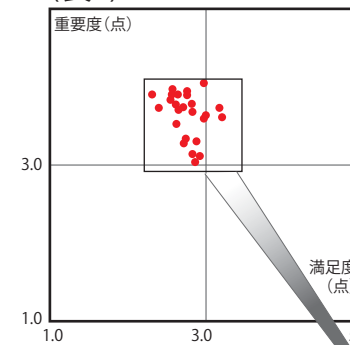
具体的には、表1は縦軸に重要度を1～5点で点数化し、同様に横軸に満足度を1～5点で図表化しております。それによると重要度はいずれの施策も平均点(3点)を超えており、満足度は多くの施策が平均点(3点)に達していません。

また、表2は表1を拡大したものです。

領域Aは、重要度が高いにも関わらず満足度は低い、今後の課題ともいえるべき領域といえますが、この領域には「産業の振興」や「健康・福祉」に関する施策が多く入りました。また領域Bは、重要度も高く、現状で満足度も高めの領域ですが、ここには「環境調和」などの施策が多く入りました。

一方、領域Dは重要度が比較的高くなく、また現状に満足している傾向がみられる領域ですが、ここには「教育・生涯学習」や「市民協働」などの施策が多く入りました。

〈表1〉 全体



〈表2〉

